



令和4年度

教育委員会事務点検・評価報告書

はじめに	1
1 教育委員会の活動状況	
(1) 教育委員会定例会	2
(2) 総合教育会議	5
(3) その他	5
2 教育委員会における事務の管理・執行状況	
(1) 学校教育	6
(2) 生涯学習	9
(3) 芸術文化の振興と文化財保護	10
(4) 生涯スポーツ	10
3 外部委員評価	11

2023年5月

井川町教育委員会

はじめに

平成19年6月に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部が改正され、各教育委員会においては、毎年、教育行政事務の管理及び執行状況について点検・評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表することが定められました。

本報告書は、第26条の規定に基づき、本町教育行政の充実発展を目指すとともに町民への説明責任を果たすため、達成度を評価したものです。

第二十六条

教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第四項の規定により事務局職員等に委託された事務を含む）を含む）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

評価スケジュール

- 2月 教育委員及び事務担当の自己評価
- 3月 評価結果のまとめ及び教育委員会定例会で評価を議決
- 4月 外部評価委員へ評価の依頼
- 6月 評価結果を6月議会に提出
- 7月 評価結果の公表（井川町ホームページ）

対象事業

- ・教育委員会が直接関与している事業或いは活動している事業を「教育委員会の活動状況」とします。
- ・教育委員会が管理・執行している事務事業や教育長に委任している事務を「教育委員会における事務の管理・執行状況」とします。

点検評価基準

A	達成している ねらいに沿った具体的成果が表れている
B	おおむね達成している 具体的な成果が表れているが改善の余地がある
C	達成していない 事業の見直しを含めた検討が必要である

外部評価委員について

点検・評価内容の客観性を確保するため、教育に関して学識を有する外部委員に意見と総評をいただきます。外部委員には、平成31年教育委員会4月定例会で石井昭廣氏（八幡）を議決し、今年度も引き続き評価をいただきました。

1 教育委員会の活動状況

(1) 教育委員会定例会

月	開催日	審議内容
4月定例会	4月26日(火)	<ul style="list-style-type: none"> ・はちろうプロジェクトによる環境学習報告 ・井川義務教育学校授業視察及び学校管理職との意見交換 <p>【議決事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> (第10号) 令和4年度井川町教育方針を議決した。 (第11号) 令和4年度就学援助児童生徒を認定した。 (第12号) 社会教育主事を任命した。 <p>【報告事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会・公民館・学校関係行事予定(5月分)
5月定例会	5月23日(月)	<p>【報告事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染拡大に係る対応について ・第64回全国町村教育長会定期総会並びに研究大会について ・町教委、公民館、学校関係行事予定(6月分)
6月定例会	6月27日(月)	<p>【報告事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6月定例議会について ・農村環境改善センター灯油漏れ事故におけるその後の対応について ・中学校地区総体等の結果について ・町教委、学校、公民館関係行事予定(7月分)
7月定例会	7月26日(月)	<p>【議決事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> (第13号) 招致外国青年就業規則の一部を改正する規則を議決した。 <p>【報告事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度以降に計画されている海外修学旅行について ・全県中学校総体等の結果について ・町教委、公民館、学校関係行事(8月分)
8月定例会	8月30日(火)	<ul style="list-style-type: none"> ・井川義務教育学校授業視察及び学校管理職との意見交換 ・学校給食の試食 <p>【報告事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国学力学習状況調査結果(概要)について ・令和5年度秋田県教育委員会に対する要望一覧(案)について ・第2回学校教職員校内研修会について ・町教委、公民館、学校関係行事予定(9月分)
9月定例会	9月27日(火)	<p>【報告事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・井川町教育委員の任命(佐藤聡子委員) ・9月定例議会について ・中学校地区秋季大会の結果について ・教育委員会、公民館、学校関係行事予定(10月分) <p>【協議事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教育に係る校内支援体制の充実について協議した。

月	開催日	審議内容
10月定例会	10月24日（月）	<p>【報告事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育長行政視察（埼玉県本庄市、茨城県守谷市）について ・全州市町村教育長会議について ・新型コロナウイルス感染拡大に伴う学校の対応について ・教育委員会、公民館、学校関係行事予定（11月分） <p>【協議事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・部活動地域移行に向けた取り組みについて協議した。 ・公営塾について協議した。
11月定例会	11月30日（月）	<p>【報告事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校人事案件について ・休日の部活動地域移行に関するアンケート結果について ・学習塾等利用に関するアンケート結果について ・全県中学校秋季大会の結果について ・教育委員会、公民館、学校関係行事予定（12月分） <p>【協議事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度教職員人事異動方針について協議した。 ・就学支援（教育支援委員会結果含む）について協議した。 ・井川町総合教育会議について協議した。
12月定例会	12月19日（月）	<p>【報告事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・12月定例議会について ・学校保護者アンケート結果について ・生徒の進路状況について ・学校部活動の入部状況について ・海外修学旅行計画の進捗状況について ・令和4年度優良PTA文部科学大臣表彰の受賞について ・教育委員会、公民館、学校関係行事予定（1月分） <p>【協議事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・部活動地域移行協議会の開催結果について協議した。 ・児童生徒の学力向上の課題と手立てについて協議した。
1月定例会	1月24日（火）	<ul style="list-style-type: none"> ・井川義務教育学校授業視察及び学校管理職との意見交換 ・学校給食の試食 <p>【報告事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会職員の異動について ・秋田県学習状況調査結果について ・第3回学校教職員研修会について ・教育委員会、公民館、学校関係行事予定（2月分）

月	開催日	審議内容
2月定例会	2月27日(月)	<p>【議決事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(第1号) 令和5年度教職員の異動に係る内申について議決した。 ・(第2号) 義務教育学校卒業式告示について議決した。 ・(第3号) 第三次井川町子ども読書活動推進計画を議決した。 <p>【協議事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海外修学旅行についての状と課題について協議した。 <p>【報告事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・義務教育学校の進路状況 ・教育委員会、公民館、学校関係行事予定(3月分)
3月定例会	3月29日(水)	<p>【議決事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(第4号) 令和5年度井川町教育委員会職員の異動に係る内申について議決した。 ・(第5号) 井川義務教育学校入学式告辞について議決した。 ・(第6号) 井川町学校応援協議会委員の委嘱について議決した。 ・(第7号) 学校医等の委嘱について議決した。 ・(第8号) 井川町社会教育委員の委嘱について議決した。 ・(第9号) 井川町公民館運営審議会委員の委嘱について議決した。 ・(第10号) 井川町文化財保護審議会委員の委嘱について議決した。 ・(第11号) 井川町スポーツ推進委員の委嘱について議決した。 ・(第12号) 令和5年度就学援助児童生徒を認定した。 ・(第13号) 井川町文化功労賞及び学芸文化賞表彰規定の一部を改正す規程について議決した。 ・(第14号) 令和4年度井川町教育委員会事務点検・評価報告について議決した。 ・(第15号) 令和5年度井川町教育方針(グランドデザイン)について議決した。 <p>【協議事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・義務教育学校管理規則の改正について協議した。 <p>【報告事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和5年第1回井川町議会定例会について ・台湾修学旅行計画について ・井川義務教育学校の進路先最終報告について ・学校応援協議会における学校評価について ・義務教育学校における社会性の伸長について ・令和5年度就学援助費の額改定について ・教育委員会・公民館・学校関係行事予定について

(2) 井川町総合教育会議

開催日	案件
12月19日(月)	・意見交換 ※ 部活動地域移行、学力向上(学習支援)、学校給食費の無償化、学校ルール等について意見交換した。 ・その他

(3) その他

- ・義務教育学校授業参観(4月26日、8月30日、1月24日)
- ・井川町教職員研修会(第1回4月4日、第2回8月18日、第3回1月12日)
- ・諸行事参観(入学式、学校祭、卒業式)

2 教育委員会における事務の管理・執行状況

(1) 学校教育

理念	重点	到達目標と結果 (○×)	具体的取り組み《》と成果	評価
<p>あたたかな心 夢ときめく ひとづくり</p>	<p>学力の向上</p>	<p>×対話や討論のある授業が展開されている。 ※対話はよく行われているが、討論については中期や後期でそのレベルまで達していないことが多い。</p> <p>×授業がよくわかる。(全校平均3.4以上) ※全校平均が3.2と目標を下回った。</p> <p>×学力調査が県平均を上回る。 ※12月調査で、全体で県平均を1.71ポイント下回った</p>	<p>《全員配付タブレットによるデジタル教科書の活用》 令和4年度「学びの保障・充実のための学習者用デジタル教科書実証事業」により、前期課程に国語と書写、後期課程に英語と社会(7・8年生は歴史、9年生は公民)のデジタル教科書を導入し、ICTを活用した教育を推進した。</p> <p>《「武埴三山」「洲崎遺跡副読本」の活用》 昨年度と同様に、6年生～9年生を対象にした六郷博志教育長による三山副読本を活用した特別授業が行われた。また、昨年度に制作した洲崎遺跡副読本に関しては、7年生～9年生に配布した。7年生では副読本を活用したフィールドワークも行われた。</p> <p>《4年生以上への新聞配付とNIEへの取り組み》 学習委員会において新聞記事を活用した学習に取り組むため、子ども達が日頃から新聞を意識するように位置を工夫したり、新聞を読む時間を確保したりと環境作りに努めた。また4年生と7年生は新聞社の方より新聞の作り方を教わり、合わせてメディアリテラシーを学んだ。</p> <p>《リーディングスキルテストの実施》 文章を読み解く力を測ることを目的に、義務教育学校の6年生から9年生が受検、結果に基づき読解力を伸ばす授業の研究に役立てている。</p> <p>《職員研修への外部講師(獲得研講師)派遣》 弘前大学宮崎教授より、義務教育学校教職員向けのワークショップを行ってもらった。実践からコミュニケーション能力の向上を図り、また表現することの楽しさや難しさ、新たな気づきを促した。</p> <p>《学習支援員の配置》 ITにより子ども達の困り感やつまづきをすぐに支援できるように、数学の授業において学習支援員の配置を行った。</p> <p>《ICT支援員の配置》 学校のICT化のサポートとして週2日支援員を配置し、教員等へのICT機器操作研修や指導、授業開始時の機器設定や授業中の操作補助等、児童生徒及び教員等へ幅広く支援を行った。</p> <p>《図書カードの贈呈や学校図書館図書費の充実》 例年同様、夏休み中の読書活動充実のため、215名の児童生徒に図書カードを配布した。また、夏休み明けには配布した図書カードの使用状況を把握するためにアンケート調査を行った。</p>	<p>B</p>

理念	重点	到達目標と結果 (○×)	具体的取り組み《》と成果	評価
あたたかな心 夢ときめく ひとつづくり	社会性の伸長	<p>× 社会的事象や出来事への関心が高くなる。 ※全国学習状況調査で、「社会をよくするために何をすべきか考えている」という質問に6年生は県平均に比較して+11P、9年生は-26Pだった。</p> <p>× 他学年と協力したり仲良くするなどの関係が強くなる。 ※上記の内容について社会性測定調査で昨年に比べて0.2ポイント低下した。</p>	<p>《動物ふれあい学習・日本海体験講座の実施》 1年生から3年生までの児童35人が参加の「おがたんけん」ではなまはげ館や男鹿水族館GAOを見学、4年生から6年生までの33人が参加の「日本海体験会」では豪雨のため海の体験は出来なかったが、あきた白神体験センターでのスポーツ体験や能代エナジウムパークなどの見学を行い、学年を超えた交流活動を実施した。</p> <p>《異文化体験学習の実施》 異文化体験、交流事業として、7年生を対象に国際教養大学訪問交流事業を実施した。校内見学や学生との交流を行った。</p> <p>《海外修学旅行の研究・視察》 2月に台湾視察を行い、現地の情勢や安全面、コロナ対応等を確認、合わせて観光地等の状況や食事、宿舎等を確認した。対象となる7年生には「修学旅行を考える会」を2回開催し、現地の気候風土を紹介した。アンケート調査から海外に興味を持つ生徒が増える結果となった。また保護者向けに2回ほど意見交換会を行ったが、不安もあるのか思いのほか意見の深まりが見られなかったため、今後アンケート調査を行い、質問等にきめ細やかに対応する予定である。</p> <p>《放課後拡充カリキュラムの実施》 全学年で午後の授業を週2コマ減らし放課後を早め、学力向上のために学習に集中すること、放課後の自主的な活動を充実させること、教師の授業研究や事務業務が出来るようにすることを目指し、新カリキュラムを導入し、児童生徒、教員ともに一定の成果を収めることができた。</p> <p>《QUの全学年の実施・社会性測定尺度による社会性調査の実施》 QUは夏休み前に全学年で実施し、全職員で情報を共有している。社会性調査は2月に実施し、経年比較を行うなど分析して全職員で同様に情報を共有した。</p>	B
あたたかな心 夢ときめく ひとつづくり	温かな心・健康な体	<p>× 生命尊重や思いやりに関する意識が高まる。 ※社会性測定調査で「みんなが仲良くなれるよう働きかけができる」が前年度に比べ0.1ポイント下降した。</p> <p>× 生活習慣改善や運動する意欲が向上する。 ※検診研究チームによる塩分摂取調査で、尿検査の同意率が72%（前年78%）を下回った。</p>	<p>《いきものふるさと水槽事業への支援》 はちろうプロジェクトや大学機関と連携して、水槽に水草を植えたり水質調査を行うことにより、川の生物や水質に関心をもつきっかけづくりをした</p> <p>《町健康教育副読本の活用への支援》 全児童生徒と保護者に向けた尿検査とアンケート調査を行った。今年で4年目の実施となった。昨年度と塩の量を比較したり、保護者と一緒に家庭での食生活を振り返りをしてもらえよう結果表を返却している。</p> <p>《町の健診と連携した講座や健診見学の実施》 健康副読本を使って学習を始める4年生に向けて、慶應義塾大学、大阪大学の先生が授業を行った。グループワークやクイズを授業に取り入れながら、塩分について学んだ。</p> <p>《職員対象のストレスチェックの実施》 全教職員を対象に年2回実施した。自分自身のストレスの状態の把握や自身のセルフケアに役立てるため実施。全体の状況を学校の管理職とも共有した。</p>	B

理念	重点	到達目標と結果 (○×)	具体的取り組み《》と成果	評価
<p>あたたかな心 夢ときめく ひとづくり</p>	<p>地域とともに 充実した 学校</p>	<p>○学校応援協議会の提言に対応している。 ※ 12の提言のうち、6つについて具体的に対応しようとしている。</p> <p>× 学校給食の町内産野菜使用率が向上する。 ※ 今年度の使用率は43.4%となっており、昨年よりも2ポイント低下した。</p>	<p>《井川みらい学の新プログラムへの支援》 義務教育学校教職員向けに総合的な学習の時間（井川みらい学）でのアクティビティの活用を図ることを目的とした弘前大学宮崎教授によるワークショップを開催し、探究的な学習の進め方について研修を行った。</p> <p>《学校応援協議会の運営と充実》 4回の協議会を行い、授業参観や県生涯学習課職員を講師にした研修会などを行い充実した協議会となった。全部で12の提言のうち、6つについては具体的に対応したりしようとしていたりしている。</p> <p>《教育支援委員会による子ども・保護者への支援》 特別な支援を必要とする児童生徒や保護者について地域・学校・教育委員会等が一緒になって情報共有やどんなサポートが必要なのか協議し、1人1人の教育的ニーズに応じた支援を行った。</p> <p>《幼小連絡会議による連携事業の展開》 昨年度から引き続き児童の交流だけでなく、こどもセンターと学校の教職員同士がお互いを訪問することにより、連携の強化を図った。</p> <p>《教職員研修会（年3回）の実施》 4月に第1回研修会を開催、アンケート結果と振興計画から「小中一貫教育のビジョン」を説明した。8月に新任教職員向けの研修会と全体向けの研修会を実施した。新任教職員研修は、本町の目指す教育の理解とふるさとの自然や文化、産業、歴史等にふれ、井川義務教育学校教職員としての資質向上を目指すために実施している。また全体研修では、弘前大学教育学部教授 宮崎充治先生を講師に迎えワークショップを開催した。</p> <p>《学校給食供給システムの検討と改善》 産直生産グループの代表者との打ち合わせを毎月おこなっている。また昨年度同様に井川産の野菜や果物を献立に多く取り入れて給食提供し、おたよりや掲示板、放送等で食材について紹介している。</p>	<p>A</p>
<p>課題と今後の方向</p>		<p>学力向上や社会性の伸長に係る多くの働きかけや取り組みを今年度も継続して行うことができたが、教師の受け止めが不十分で、子どもの変容までたどり着かないものも多くあった。学校自体の動きも緩慢で、全体的な学校力が低下していることは否めない。 今後は、教師が自ら取り組みを決定させる機会を多くするなど教育委員会の意図を浸透させる工夫をするとともに、教育委員会自身も直接子どもに働きかける方途を探っていく必要があるだろう。</p>		

(2) 生涯学習

理念	重点	到達目標と結果 (○×)	具体的取り組み《》と成果	評価
<p>あたたかな心 夢ときめく ひとづくり</p>	<p>豊かで楽しい学習機 会の保障</p>	<p>未 各種事業の満足度が向上する。 ※ 諸行事の中止により満足度を評価できなかった。</p> <p>未 参加者の減少に歯止めがかかる。 ※ 諸行事の中止により参加者数の評価ができなかった。</p>	<p>《社会教育委員の会議・公民館運営審議会》 令和5年2月に会議を開催。公民館運営や行事について提言をもらった。</p> <p>《高齢者大学》 昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染拡大防止のため開講を見送った。</p> <p>《移動公民館・いきいき町民セミナー》 昨年度に引き続き、開催の目処が立たず開講を見送った。</p> <p>《放課後子ども教室》 毎月放課後に英語・算数教室を前・中期課程の児童に向けて開催。また、夏休みには大潟村生涯学習奨励員を講師としてお招きし、石鹼デコパージュづくりを開催。11月にはニュースポーツ体験としてモルックを行い、冬休みはブローチピンづくりを開催。12月の英語教室ではクリスマスをテーマにした学習を行った。このような地域学校協働活動推進員の工夫もあり、継続して多くの児童が参加している。</p> <p>《生涯学習奨励員の活動》 奨励員は10名委嘱。生涯学習奨励員会報誌「やまどり」を年3回発行。年3回の定例会をすべて行ったほか、年2回の研修会、支援学校への訪問、いかわオープンガーデンの推進など、コロナ禍の中で積極的に活動した。</p> <p>《全町盆踊り》 4年振りに開催となる見込みであったが、雨天により開催中止となった。</p>	<p>評価なし</p>
	<p>地域の教育力向上への支援 教育力向上への支援</p>	<p>× 家庭教育支援の事業が充実する。 ※ 事業は昨年と同様で1回の講座しか開くことができなかった。</p> <p>○公民館図書室の貸し出し冊数が増加する。 ※ 1月末現在で貸し出し冊数が昨年同期を114冊上回った。</p>	<p>《読書活動や家庭教育支援での学校等との連携強化》 読書活動では、10月に選書ツアーをに開催し、参加者13名の内小学生2名、中学生1名が参加した。 家庭教育支援事業では就学時健診時に保護者17人を対象に家庭教育講座を実施した。</p> <p>《子ども教室の多様な講座や取り組みへの支援》 英語・算数教室では塾や学校で指導歴のある地域学校協働活動推進員が楽しく学べるように工夫した教室を開催。ものづくりが得意な推進員も多く、長期休みには工作をメインにした教室を開催し、多数の児童が参加した。</p> <p>《図書室の貸し出し数等と広報や展示の工夫》 1月末現在の公民館図書室貸出冊数は1,505冊、利用者数は503名で、昨年度に比べて冊数は114冊の増、利用者数は4名の減である。 新刊図書の貸出開始をHPで周知したり、選書ツアーの特設コーナーを作ったりすることで、貸出数の増加に努めた。</p>	<p>B</p>
<p>課題と今後の方向</p>		<p>今年度もコロナ禍により多くの事業や行事が中止となり、生涯学習全体が意気消沈している状況が続いている。そうした中、公民館図書室の利用については漸増が続いており、取り組みや広報の工夫等で住民の意識が変わっていくことの確認ができた。 来年度については、事業や行事が復活して計画どおり実施することが予想されることから、満足度調査やニーズの把握をきちんと行って、これからの展開に備えたい。</p>		

(3) 芸術文化の振興と文化財保護

理念	重点	到達目標と結果 (○×)	具体的取り組み《》と成果	評価
あたたかな心 夢ときめく ひとつづくり	郷土の歴史・文化の保護・継承・活用	× 文化財継承の課題解決について方向性を出す。 ※ 審議会では多くの意見が出たが方向性を見いだすまでには至らなかった。	《歴史民俗資料館の利用状況と成果・課題》 2月末現在の来館者は33名で、昨年度よりも37名減となっている。引き続き「昭和と平成の時の流れを感じるひととき」の展示を行っているが、新たな特別展は開催出来ない。 《学校と連携した伝統文化の継承と町民への啓発》 義務教育学校3年生「井川みらい学」で願人踊りと民謡手踊りを体験、PTA授業参観で発表した。コロナ禍ということもあり限定的ではあるが啓発活動を行っている。なお、学校での練習は保存会の方々の協力を得てより本格的な体験活動となっている。 《文化財保護審議会等での幅広い意見聴取と協議》 文化財保護審議会を開催し、幅広く意見をいただく。課題の洗い出しを行ったが、早急に解決出来るものがなく、話し合いを継続することとした。	B
	芸術文化の振興	○ 芸術文化団体・サークルへの活動支援を充実させる。 ※ 例年通りの助成を行ったが、活動自体はコロナ渦前の水準には到達していない。	《芸術文化団体への助成等と成果》 昨年同様、芸術文化協会へ20万円の補助。「芸文井川」「芸文協だより」を発行している。また「創立50周年記念式典」を無事開催、成功裏に終わっている。 活動支援として「さくらまつり」「収穫感謝祭」において「歌と踊りの集い」を開催、ステージ発表の場を提供している。また昨年に引き続き「町民作品展」を開催し、各団体・各種教室・サークル活動等の成果物発表の場を提供した。	A
課題と今後の方向			文化財保護については副読本の活用や願人など子どもをとおした啓発は活発に行われているものの、資料館の運営など喫緊の課題への取り組みが不十分だった。審議会への諮問と同時に、町長部局とも協議をしながら、具体的なプランに着手すべきときである。 芸術文化団体への支援は、来年度もより充実を図っていきたい。	

(4) 生涯スポーツ

理念	重点	到達目標と結果 (○×)	具体的取り組み《》と成果	評価
あたたかな心 夢ときめく ひとつづくり	生涯スポーツの振興	未 各種大会やイベントの満足度が向上する。 ※ 多くが中止となり、満足度調査を全般的に行うことができなかった。 × 組織の見直しで運営が活性化する。 ※ 各種球技大会の運営は各サークルの大きな協力のもとに行われており、運営の改善まで今一步である。	《各種大会、チャレンジデー、自然ウォーク、井川マラソンの実施状況と成果》 町民体育大会、自然ウォーク、町民トレッキングは新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった。 チャレンジデーは72%の参加率を達成。当日は独自イベントとしてモルック体験会を開催した。井川マラソンは参加種目を変更し、経験や体力に応じて距離を選択できるようにした。 野球大会は参加チーム不足により中止となったが、それ以外の各種球技大会は滞り無く開催出来た。しかし、野球大会やバレー大会のように参加チームの減少が目立つ大会もあり、初心者でも参加しやすく、楽しめるよう配慮するほか、大会の縮減等の見直しが必要である。 《満足度調査の実施及び聞き取りによる事業改善》 満足度調査は実施せず。実施したスポーツ大会で、参加者の声を直接聞き取り、すぐできるところは臨機応変に運営してきた。	B
	課題と今後の方向			コロナ渦で中止になったものもあったが、チャレンジデーや球技大会など継続して開催した大会では運営に協力してくれる町民も多くなり、来年度に向けて明るい展望も開けた。 来年度の大会行事については、一層の工夫を行うとともに、満足度調査を行って、しっかりと町民のニーズの把握に努めたい。

(1) 学校教育

- ア 教育の理念である自主活動、心身の健康、夢と希望など、一人ひとりの個性を伸ばす理念を重視している。
- イ 副読本、デジタル教科書の活用、新聞の活用等、教育態勢を整えている。
- ウ 職員研修や学習支援員の配置等に配慮している。
- エ 体験学習、交流事業、実態調査、ワークショップ等の指導改善を行っている。
- オ 家庭と学校の連携、あいさつや返事、話し方、家での過ごし方等、基本的生活習慣の大切な視点を忘れない。
- カ 時代はさらに、児童生徒の多様性に応じた指導が求められると思われる。

(2) 生涯学習

- ア 豊かで楽しい学習機会の保障は極めて大切であり、抜本的な見通しと計画が求められる。
- イ これまでの良好な実践は継続され成果を上げることが大切である。
- ウ 学校教育と関わる家庭教育とPTA活動を見直し、新たな連携を考える時と思われる。
- エ 公民館ホールや図書室の活用が工夫されているのは望ましい。

(3) 芸術文化の振興と文化財保護

- ア 文化財継承と資料館の利用については引き続き検討されることが考えられる。
- イ 芸術文化の振興は、基本的な計画は十分に実施されている。会員や参加人員の確保に努力されている。
- ウ 芸文協の創立記念式典は有意義なものとなっている。

(4) 生涯スポーツ

- ア スポーツも運動も多様化の時代であり、種目を減らさず楽しめる工夫が要求される。
- イ 各種大会やイベントの運営、改善は必須のようである。
- ウ 満足度調査を行なって、改善や資料作成をする計画は重要である。

(5) 総合評価

- ア 目標はおおむね達成されていると思われる。なお一層の精進が期待される。
- イ 少子高齢化の進行変化は急激であり、急速な対応が求められている。
- ウ 多様とは、一人ひとりの個性ととらえ、そのための指導やサポートが求められている。
- エ スポーツであっても、競争とか勝敗だけでなく、遊びや触れ合いの中で楽しく人と人が繋がり、礼儀正しさと思いやりを育む場でありたい。